



第17回 MBA 軽井沢セミナー

Creative Japan from Karuizawa

「歌舞伎と共に半世紀」

～歌舞伎を知り尽くした専門家が語る、軽井沢と歌舞伎の深い仲～

ここ3年間新型コロナウイルスの影響により、リモート（Zoom）による開催を余儀なくされておりましたが、昨年より場所を軽井沢ユニオンチャーチに戻し、対面で開催させて頂いております。今回のセミナーでは、松竹株式会社の常務取締役を今年7月退任後、エグゼクティブフェローとしてご活躍の岡崎哲也氏を講師としてお招きしています。

「3歳からの歌舞伎、12歳からのクラシック、そして生まれる前からの軽井沢」が岡崎氏の構成要素との事。軽井沢63年、歌舞伎60年、音楽50年に培われたキャリア。歌舞伎にまつわる何からなにまで熟知していらっしゃる稀有な、歌舞伎の申し子の様な岡崎氏に、歌舞伎を軸として、軽井沢との深い仲、歌舞伎と海外との交流95年の歴史、歌舞伎とクラシック音楽の関係等、様々な切り口から、熱く『歌舞伎』について語って頂く予定です。昨年に引き続き、緑豊かな軽井沢で皆様とお会いできます事、楽しみにしております。是非、多くの方々のご参加をお待ちしています。

【日時】 2024年10月5日（土） 15:30～ 開場・受付開始
16:00～17:30 講演
18:00～20:30 懇親会

【セミナー会場】 ユニオンチャーチ

<http://www.karuizawaunionchurch.org/>

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 862 （旧軽テニスコート隣）

【懇親会場】 SAJIRO CAFÉ [Sajilo Cafe Forest / Atelier Sajilo](#)：軽井沢 | [sajilo](#)

〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 859-1 （ユニオンチャーチの裏手）

【参加費】 セミナー： ¥2,000（教会への寄付等） 懇親会：¥5,000

■ 講師： 岡崎 哲也（おかざき てつや）氏

松竹株式会社 エグゼクティブフェロー

主催： NPO 法人MBAキャリアデザイン研究所 <http://www.mba-career.net>

後援： NBS 長野放送

講師紹介

■ 講師： 岡崎 哲也（おかざき てつや）氏

松竹株式会社 エグゼクティブフェロー



<ご略歴>1961年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。84年松竹株式会社入社。長く歌舞伎の制作に従事。2012年同社取締役、15年同社常務取締役。19年同社常務取締役最高財務責任者。1987年の旧ソヴィエト以来、フランス、アメリカ、イタリア、イギリス、ドイツ、韓国、中国、ルーマニア、モナコなど歌舞伎海外公演に参加。ほかに、松竹衣裳株式会社社長、歌舞伎座舞台株式会社社長、(公財)松竹大谷図書館評議員、(公財)東京交響楽団理事長、(公社)日本演劇協会理事、(公社)国際演劇協会日本センター理事、デジタルハリウッド大学特任教授、慶応義塾大学アート・センター訪問所員、ミュージック・ペンクラブ・ジャパン会員。川崎哲男の筆名で歌舞伎、舞踊などの脚本を多数執筆。第43回大谷竹次郎賞受賞

主な著書・論文・実績等

「歌舞伎に携わる演奏家名鑑 思い出の名演奏家たち」共著 (一社) 伝統歌舞伎保存会刊 2020年
「歌舞伎衣裳図録」松竹株式会社刊
クラシック音楽にも造詣が深く、季刊誌『ステレオサウンド』に連載を持っている。

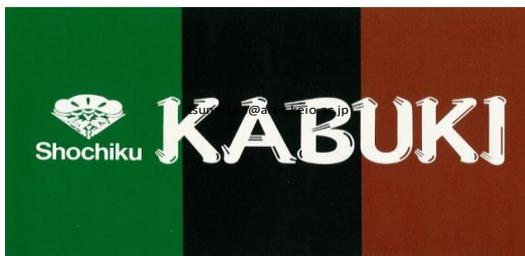
お申し込み:参加ご希望の方は、氏名・所属団体・連絡先をご記入の上、9月28日迄に info@mba-career.net もしくは <http://www.mba-career.net> のHP上からお申し込み下さい。

お問い合わせ: NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所事務局 info@mba-career.net

★NPO法人MBAキャリアデザイン研究所とは <http://www.mba-career.net/>

NPO 法人 MBA キャリアデザイン研究所(代表 庄司祐子)、その創業の意図するところは、産学連携の中で日本の MBA の価値を高めていく事にあります。当研究所では、16年前から軽井沢にてMBAセミナーを開催しております。今回、17回目にあたるセミナーでは、歌舞伎にまつわる一部始終を熟知された岡崎哲也氏をお迎えし、軽井沢と歌舞伎の深い仲、歌舞伎と海外との交流95年の歴史、歌舞伎とクラシック音楽の関係等、様々な切り口から、熱く『歌舞伎』について語って頂く予定です。

歌舞伎、海外との交流95年



★ 軽井沢ユニオンチャーチとは <http://www.karuizawaunionchurch.org/>



● 軽井沢ユニオンチャーチは、地域の住民から「軽井沢の村長さん」と呼ばれ親しまれたダニエル・ノルマン宣教師によって活動を開始しました。非公式ですが1897(明治30)年からその活動が始まっています。そのメンバーはプロテスタントの外国人宣教師たちで、荒れ地に近かった軽井沢に最初に夏の別荘を建てたのも彼らの働きでした。クリスチャンのための礼拝も1880年中頃には既に持たれていました。もともと官営鉄道の高級技師用クラブハウスとして建てられた建物を買い取り、改装した後、現在の教会として1906(明治39)年から使用されています。